

(仮称)『美しいやまぐちづくり・景観川柳賞』創設の提言！

山口県景観アドバイザー 三吉 幸夫

本欄で、各アドバイザーの方々の執筆文に感心していたら、今回は私の出番。私には500字程度で、景観をアカデミックに論ずる力量はない。そこで、自分がWSを体験して思ったことの一つとして、上記標題の提言を試みる。

WSの中で「まち歩き」の際に、景観を短いフレーズでカードに記入していくコメント文、或いは「壁新聞」のタイトルやサブタイトルの文言には、核心を衝いているなど感心させられることが、度々あった。

これらが何とか陽の目を見ないものかと思っていたら、新聞に掲載された「サラリーマン川柳」に眼が行った。そうだ！いっそのこと「景観川柳賞」なるものを創設し、広く老若男女を対象に句を募集～選考～褒章～広報するといった手法で、景観に対する一般の方々の意識や関心を、より高揚出来るのではと考えてみた。

まずは手始めに、今後開催されるWSの参加者全員に、一人一句詠んでいただき、「壁新聞」に貼り付け、WS会場で選考～褒章～発表する。更に年度末には各WS代表句の中から、年間最優秀賞を選考して褒章する---というのは如何？

こうして提言しておきながら言うのも変な話だが、「何を稚拙なことを言うか-----」との反応が大半ならば、私三吉の独り言、寝言と読み流して下さい。